使用製品

歯 - 根管ポスト - ファイバー強化型レジン - MultiCore Flow

☐ **MultiCore（日本未導入）**
Core build-up in vital and non-vital teeth.

☐ オプトラダム
治療部位を防湿するための3Dラバーダムです。

☐ トータルエッチ
37%リン酸エッチング材です。流れにくいジェルで、塗布した箇所にしっかり留まります。

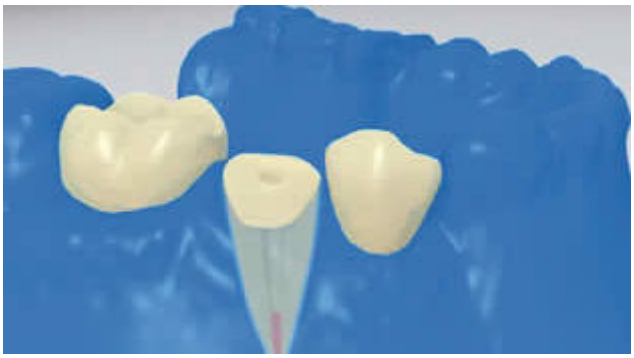
☐ モノボンドプラス
どの修復物表面にも使用できるユニバーサルタイプのプライマーです。

☐ エキサイト **F DSC**
エキサイト F DSC – Dual cure Single Component –は、デュアルキュア型、1液性、トータルエッチタイプのボンディング材で、フッ素徐放性があります。

フローチャート MultiCore Flow

歯 - 根管ポスト - ファイバー強化型レジン - MultiCore Flow

1 装着前

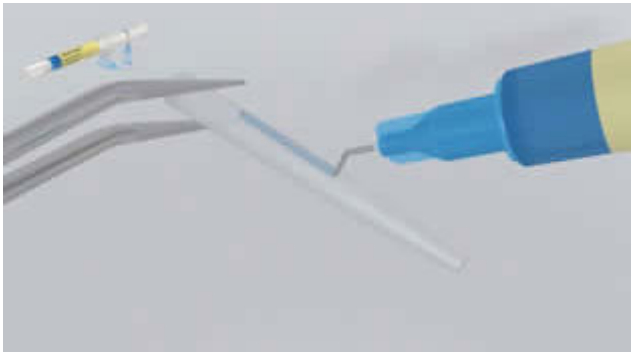


治療部位の防湿は必要不可欠です。**オプトラダム**で行うか、防湿用パッドあるいは排唾管を使用し簡易的に行います。

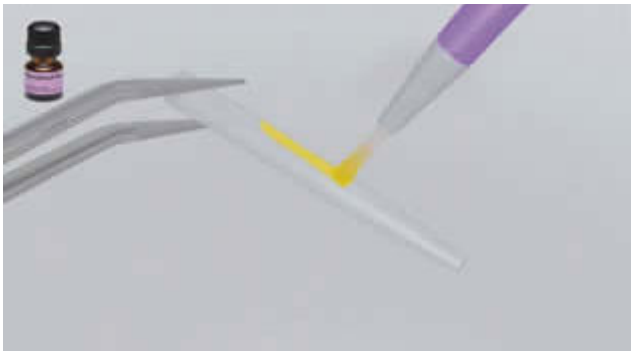
2 ポストの試適

ポストを試適します。ポストが長い場合、回転切削器具を使用し、口腔外で調節します。

3 ポストの前処理

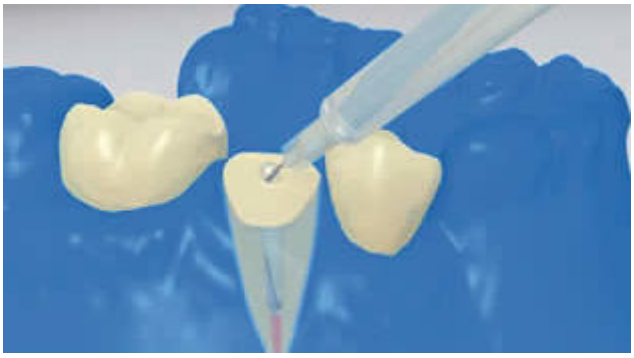


FRC Postec Plus（日本未導入） is cleaned with phosphoric acid (e.g. **Total Etch**) after Try-In. The etching gel is allowed to react for 60 sec. Then, it is thoroughly rinsed off with water and the post is dried. Other glass-fibre posts have to be conditioned acc. to the directions of the manufacturer.

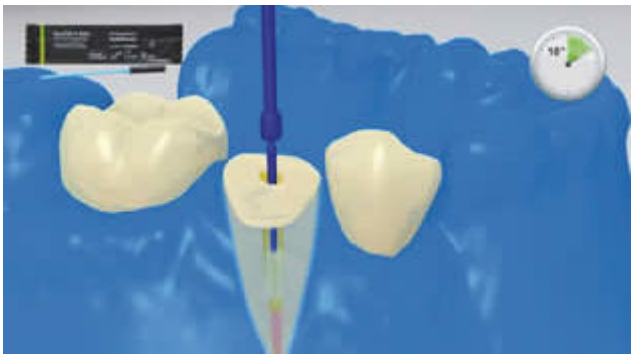


モノボンドプラスをブラシあるいはマイクロブラシで塗布します。60秒間反応させ、その後、強圧のエアーで余剰を拡散します。

4 根管の前処理とボンディング材の塗布



最後に、処理した根管を消毒し、ペーパーポイントで乾燥します。



支台歯の根管内と接着歯面をエッチング後、**エキサイト F DSC** をエンドブラシで10秒間塗布します。余剰のボンディング材は、ペーパーポイントを使用して根管内から除去します。

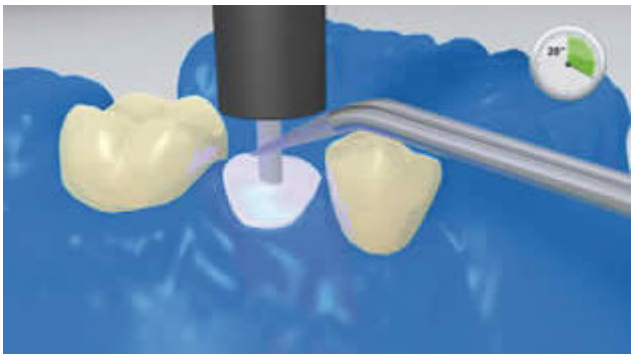
5 MultiCore Flow（日本未導入） is applied

The root post prepared according to the instructions of the manufacturer is coated with mixed **MultiCore Flow（日本未導入）**. Furthermore, MultiCore Flow（日本未導入） can be placed directly in the root canal using Intra Canal Tips.

6 ポストの装着

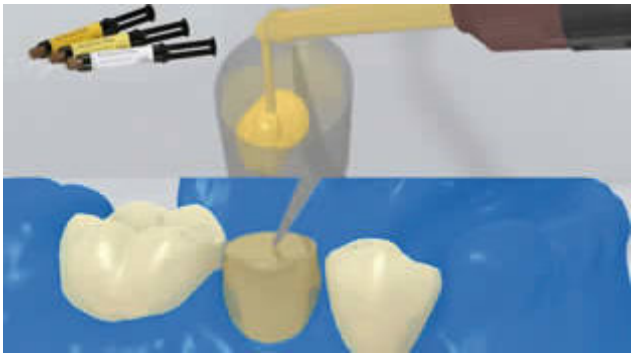
ポストを挿入し、余剰セメントを押し出します。

The cement can be distributed across the entire preparation surface for total coverage.
Next, **MultiCore Flow（日本未導入）** is light-cured for 20 seconds.



この間、光重合しポストを適切な位置で支持します。オペーク色の材料、つまり不透過性の材料には、化学重合による硬化をお勧めします。

7 支台築造



支台築造材をコーピングに充填します。象牙質にも 支台築造材を少量塗布し、コーピングを装着します。

支台築造材をその材料メーカーの指示に従い重合します。

8 フェルールの状態により築造したコアを形成します

コーピングをはずし、築造されたコアをフェルール形態を考慮して形成します。